

報道関係 各位

2012年5月11日  
大塚国際美術館

第61回 全国美術館会議総会の開催について  
併せて、特別セッション「文化財レスキュー事業の経過とこれから」を開催いたします  
《取材のご案内》  
2012年5月28日(月)13時30分より

謹啓 報道関係の皆さまには日ごろより何かとご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

美術館は、美術作品やそれに関わる資料・情報を集め、保存し、研究し、公開しながら、未来の世代に伝えていくという使命をもっています。また、コレクションの展示や、特別展、教育普及活動をはじめとするさまざまな営みを通じて、地域社会と連携し、市民と交流しながら文化創造の拠点となる役割も担っています。

全国美術館会議は、このような美術館の使命の実現を支え、その活動を社会的にしっかり根付かせるため、総会、総会記念フォーラム、講演会、学芸員研修会、研究部会などを毎年開催し、その成果を会員館や、広く美術関係者、また、一般の方々とも共有しようと考えています。

日本の美術館がともに考え、ともに行動することをめざして、1952年に設立された本会は、現在、359館(国立8館、公立226館、私立125館)の会員館と33社の賛助会員で組織されています。(2012年4月1日現在)

この度、大塚国際美術館(館長:大塚明彦、所在地:徳島県鳴門市)にて第61回全国美術館会議総会を開催する運びとなりました。本総会が行われるのは、徳島県で初めてのことです。

また本総会では、特別セッションとして「文化財レスキュー事業の経過とこれから」と題した活動報告も行われます。全国美術館会議は、東日本大震災により被災した文化財を守るため、文化庁の呼びかけによる「文化財レスキュー事業」に参加。全国から多数の加盟館職員が被災地を訪れ、作品・資料の救出と修復に当たっています。その活動を振り返り、成果と問題点を検討するとともに、将来の大災害に備えて、各美術館と全国美術館会議が今後どのような取り組みを行うべきかと考える機会とします。

以下に当日の概要をご案内します。つきましては報道関係の皆さまには、お忙しいなか誠に恐縮ですが、ぜひご取材賜りますようご案内申し上げます。

謹 白

## 全国美術館会議 第61回総会 取材申込書 (Fax : 088-687-1117)

【参加】全国美術館会議 会員館 (359館) 館長ほか 約200人

【場所】大塚国際美術館「システィーナ・ホール」

【日時】5月28日(月) 13:30~18:00

### 【スケジュール】

13:00~16:00 プレス受付(当館B3F) ご取材をご希望される場合は必ず受付までお越しください

13:30~15:45 全国美術館会議 第61回 総会

開会挨拶 全国美術館会議 会長 青柳正規

歓迎挨拶 徳島県知事 飯泉嘉門

鳴門市長 泉 理彦

来賓挨拶 文化庁長官 (代読 江崎典宏文化財部美術学芸課長)

16:00~18:00 特別セッション

「文化財レスキュー事業の経過とこれから」 詳細は別紙をご参照ください

- \* ご取材される方は、お手数ですが **5月25日(金)まで**にご返信いただきますよう、何卒よろしくお願いたします。
- \* なお、撮影位置は先着順とさせていただきます。ご了承くださいますようお願いいたします。
- \* 総会の冒頭挨拶部分・特別セッションは、撮影可能です。ただし、発表内容によっては取材等で制限があり、ご不便をお掛けする場合がございますがご容赦ください。またフラッシュの使用はご遠慮下さい。
- \* ご取材中は、必ず社名の入った腕章を着用してください。

**取材する**

**取材しない**

**撮影あり【ムービー( )台/スチール( )台】**

貴社名			
お名前		参加予定人数	名様
ご連絡先		メールアドレス	

・ご取材いただけるところを **で囲んでください。**

第61回 総会	特別セッション
---------	---------

《本件に関するお問合わせ先》

大塚国際美術館 企画・広報部：坂本明子

TEL : 088-687-3737 FAX : 088-687-1117

## 第 61 回全国美術館会議総会 特別セッション

# 「文化財レスキュー事業の経過とこれから」

日時： 2012 年 5 月 28 日（月） 16：00～18：00

会場： 大塚国際美術館（徳島県鳴門市）B3 システィーナ・ホール

**内容：** 東日本大震災により被災した文化財を守るため、昨年 4 月に発足した「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会」による文化財レスキュー事業が現在も継続中です。全国美術館会議も救援委員会の構成団体のひとつとして事業の一端を担い、これまでに全国各地の会員館から 100 名を超える職員が被災地域での救援活動に参加しました。

今回の特別セッションは、これまでの 1 年間における文化財レスキュー事業を振り返り、その成果と問題点を検討するとともに、将来の大災害に備えて、各美術館と全国美術館会議が今後どのような取り組みを行うべきかを考える機会とします。

### 1. 活動報告（16：00～16：50）

「文化財レスキュー事業の成果と課題」

岡田 健（東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会事務局長  
東京文化財研究所保存修復科学センター長）

「石巻文化センターの救援」

村上博哉（事務局企画担当幹事 国立西洋美術館学芸課長）

「陸前高田市立博物館の救援」

浜田拓志（東日本大震災対策本部委員 和歌山県立近代美術館副館長）

「被災作品の応急処置と修復」

伊藤由美（東日本大震災対策本部委員 神奈川県立近代美術館専門研究員）

### 2. パネルディスカッション（17：00～18：00）

司会進行

山梨俊夫（東日本大震災復興対策委員長 国立国際美術館長）

パネラー

小谷竜介（宮城県教育庁文化財保護課技術主査）

本多文人（陸前高田市立博物館長）

藤原 徹（東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター教授）

岡田 健

村上博哉

浜田拓志

伊藤由美